

第13回 北海道 小・中・高生短歌コンテスト 受賞・入選者一覧

【 特別賞 】

【 北海道教育委員会教育長賞 】

夏休み旧手宮線とぼとぼとなつかしさ連れ歩き続ける 北星学園大学附属高等学校 2年 吉泉 智也

【 北海道立文学館賞 】

がんばれたはやねはやおきあさごはんびょうきかからずこんがりひやけ 札幌市立東園小学校 3年 司口 紗菜

【 北海道歌人会賞 】

夜の道光って消えて飛んでゆく「夏が終わる。」と告げゆくほたる 札幌市立北光小学校 5年 横沢 匠

【 北海道新聞社賞 】

将来のためよためよと言う大人私の未来をのぞき見ないで 江別市立江別第三中学校 2年 木村かごめ

【 優秀賞 】

※計8名

春さん歩ジージージージカエルさん？オオジシギだよくしろしつげん 釧路市立鳥取西小学校 2年 山根 悠聖

わらじ虫かれ葉のかげに身をよせておしくらまんじゅう秋の夕ぐれ 苫小牧市立泉野小学校 3年 近藤 芦羽

浜益の千本ナラに木もれ日がキラキラ輝きパワーをもらう 札幌市立平岸高台小学校 6年 森国 怜奈

誰もいない静まりかえった暗闇でつばさがはえる一人の時間 札幌市立南月寒小学校 6年 高橋 柚亜

好きだなあ音の波に乗るかんじ私とピアノ十年目の夏 喜茂別町立喜茂別中学校 2年 堀 来羽

遠い夏私をおぶった祖母の背も今は小さく優しくまるく 札幌市立向陵中学校 1年 堀田あかり

冬ざれの西日に向かい命乞い季節逸(はぐ)れたとんぼ地を這う 札幌聖心女子学院高等学校 3年 瀧田 小麦

真っ黒く焼けたる球児のがむしゃらに白のボールを追うは美し 北海道札幌南高等学校 2年 清水 将也

【 佳作 】

※計16名

さくらんぼかわいいふたごのおちゃめさん風にふかれてダンスの練習 岩内町立岩内西小学校 3年 宮川 絢音

大すきなピアノのねいろひびかせるゆめのぶたいでベートーベンを 札幌市立栄小学校 3年 安藤あかり

はかそうじきれいになってうれしそうまだ長生きしてほしいなあ 札幌市立しらかば台小学校 3年 遠山 朋希

なつのもりひかりかがやく木のすきまくもがつくったハンモックのす 札幌市立藤の沢小学校 3年 陣内 友子

平和資料館に原爆で黒く焼けこげたヒョロヒョロしてる小さな三輪車 北広島市立緑ヶ丘小学校 6年 三浦 花音

ひびく音将棋の駒がいかくする何手読んでも指すのは一手 札幌市立旭小学校 6年 村山 慈音

停電でふだんは見れぬ星空を今日はゆっくり二人で見れる 札幌市立発寒東小学校 6年 佃 柊人

エメラルドすきとおるはねかわかしてブリッジしながらエゾゼミのうか 札幌市立藤の沢小学校 4年 陣内 直子

夏まつり人混みの中歩いている風にたなびく浴衣のリボン 旭川市立愛宕中学校 2年 遠藤 凜花

父の日にちょっと高めのチョコレート喜ぶ父にねだる一口 札幌市立前田北中学校 2年 安宅ひより

グラウンドの芝生の匂い熱い風ゆるるカゲロウ突き抜くシュート 苫小牧市立植苗中学校 1年 中川 敏

スカートに扇風機のかぜ孕ませて私は空飛ぶ魔法少女 立命館慶祥中学校 3年 新井 花梨

教科書の隅に小さく描いている説教中の先生の顔 旭川龍谷高等学校 3年 奥山 結比

君の目はいつも違って笑ったりさびしそうだったりうつりげな空 北海道高等聾学校 3年 田村 実咲

画面には「笑」とあるが実際はスマホをにらみニコリともせず 北海道札幌白石高等学校 1年 深井 颯

肩濡らし走って帰る君を見て容易く触れてる雨を羨む 北海道津別高等学校 3年 田口 雅斗

【 入選 】

※計57名

ながれぼし空からおちてきれいなひねがいかなえておやすみなさい 岩内町立岩内西小学校 3年 阿部幸綺菜

夏の夜空きらきら光る天の川あってみたいなおりひめさまに 岩内町立岩内西小学校 3年 杉本 李心

まんまるの小さなたいようパコーンときもちスッキリうれしいテニス 札幌市立厚別北小学校 3年 矢谷いぶき

オクラはね切ったら星が出てくるのすてきな夜のおいしいごはん 札幌市立資生館小学校 3年 黒住菜々子

きゅうしょくはいつもおいしく食べあきないみそラーメンはしあわせになる 札幌市立東園小学校 3年 荒川 侑真

なつやすみマリナーパークでさかなみたキレイだったよイルカのおよぎ 札幌市立東園小学校 3年 石戸谷奏来

山登りけしきはきれい足はいたい町は小さく空はひろいよ 札幌市立東園小学校 3年 柴山 朋花

神様にわたしも空をとびたいとかなわぬねがいついしてしまう 札幌市立発寒西小学校 3年 天間あかり

マウンドでグローブかまえてじゅんびするボールをおって走りに走る 札幌市立伏見小学校 3年 小仲 陸王

あかいろの高くそびえるテレビとうアイスにかわれとねがう夏の日 札幌市立山鼻小学校 3年 矢花 優

夜の空流れ星たちおにごっこここまでおいでつかまえてごらん 札幌市立米里小学校 3年 佐藤こはく

ハロウィンがちかづいてくるもうすぐだおばけになっておかしく下さい	東川町立東川第二小学校	3年	澤田 琉星
バーンバン花火の音に耳ふさぐ空見上げると一面の花	北海道教育大学附属札幌小学校	3年	板垣 宝純
わあ！きれいとはひらがわでみたはなびはなばたけにさくかわいいおはな	北海道教育大学附属札幌小学校	3年	高倉小桃愛
もいわやまたくさんすべり足いたいそれでもすべるじょうきゅうコース	北海道教育大学附属札幌小学校	3年	堀 貫太郎
夜の海月で照らされ海光る星もかがやく君もかがやく	旭川市立旭川小学校	5年	中川 礼音
木の中にエゾフクロウがひょっこりと藻岩の山はいつでも見てる	札幌市立幌西小学校	5年	山本 果凜
動物園夜に行っても元気な子遊んでばかりのレッサーパンダ	札幌市立栄南小学校	6年	鈴木 音寧
今夜だけ夜空は野原に変えられて数えきれない花さきほこる	札幌市立札幌北小学校	6年	佐藤 椿
帰り道気づけばいつも二人きり私はわざと彼の背を追う	札幌市立発寒東小学校	6年	浅川あんな
水平線立てればくずれる砂の城夕焼け光る夏終わりがな	札幌市立発寒東小学校	6年	森田 紗夜
淡路島あかし大橋長かったグルグルめぐるうず潮とぼく	札幌市立平岡南小学校	6年	萩原 陸太
たんぼぼがいろんな場所に芽を出して地面を全部黄色にそめた	札幌市立北陽小学校	6年	堀井 柚稀
帰りみちふと空見ると赤い星祖母に教えた近づく火星	札幌市立円山小学校	4年	矢野 七雨
砂の白新緑の松混じり合い日本の誇り天橋立	札幌市立円山小学校	5年	磐上 天志
るりいろがくものすきまにチラリとね今日のシアワセみつつけちゃったよ	札幌市立山の手南小学校	5年	中島 樹
京極のようてい山の水の音身も心にも静けさ伝わる	札幌市立山の手南小学校	5年	西山 充
たのしみは真夏の昼に自転車のペダルをふんで風になるとき	苫小牧市立若草小学校	6年	今井 愛斗
函館に向かうフェリーから見た海は光をのんだ青いガラスだ	函館市立万年橋小学校	4年	笹岡 綾奈
さよならは悲しい言葉じゃないんだよ「次」が始まる大切な言葉	厚真町立厚南中学校	2年	池田 葵
雨の日の雨粒の音が聞きたくて傘をさして外に出てみる	小樽市立菁園中学校	2年	石川 美咲
朝焼けの海に魅せられ息をのむ紅き空には白鳥わたる	北広島市立大曲中学校	2年	本條 光起
友達と親にないしょで抜け出したあの日がうつる夜桜並木	札幌市立前田北中学校	2年	國弘 実凧
あじさいがさしこむひかりで輝いた気持ちも晴れる雨あがりの朝	伊達市立光陵中学校	2年	富田 一葉
亡き祖母のメールの下書き母に向け”ありがとう”の字笑みがこぼれた	千歳市立千歳中学校	2年	会川 瑞希
「好き」だって勇気を出して伝えても気持ちは届かぬ液晶画面	千歳市立千歳中学校	2年	谷 涼帆
公園のさびたブランコにこしかけて車通らぬ道路を見つめた	苫小牧市立青翔中学校	2年	内藤 岳玖
はちまきを頭に巻いて船に乗りこんぶの香りも風の船に乗る	根室市立歯舞中学校	2年	小田 恵矢
ふるさとの歴史がかおる桜の木城下の町の訛りなつかし	松前町立松前中学校	2年	福野 海
夕暮れに手繋ぐ親子懐かしく手を繋ごうよと母に頼んで	立命館慶祥中学校	1年	山口まりん
帰り道内に秘めてる恋心歩幅合わせるあなたに気づく	立命館慶祥中学校	1年	横田 心暖
暗黒の太古の海より泳ぎ出で現在(いま)をもくろうモササウルス	立命館慶祥中学校	2年	奥山 航輔
八月の都の夜を赤く染め先祖をつなぐ五山の送り火	立命館慶祥中学校	3年	遠藤志穂子
ジェット機の音轟くやひまわりの海が波打つ青空の下	旭川龍谷高等学校	1年	奥野 正曜
叶わぬと言われてもなお願い込め短冊に筆走らせている	旭川龍谷高等学校	1年	新屋 若菜
風りんがちりと鳴った縁側に半そでセーラーりと輝く	帯広北高等学校	2年	尾野 里緒
なつかしの故郷の風景思い出し母の手作り気持ちで味わう	帯広北高等学校	2年	小出 頼人
初めてのオープンキャンパスバスの中友と二人で夢語る夏	帯広北高等学校	2年	平山 紗妃
少しずつ歩くりズムの変わりゆく君と未来を眺めるうちに	帯広北高等学校	3年	猿倉 準也
人間が大地をよごし空をよごし地球をよごし天気がこわれた	北海道旭川工業高等学校	2年	久須美達弥
夏の夜輝く君に照れ隠し慣れない下駄に慣れない浴衣	北海道小樽未来創造高等学校	1年	柿村 彩寧
染まりたいあなただけの黄色へと太陽に向かいのびるひまわり	北海道小樽未来創造高等学校	1年	本間 桃奈
朝凧の中に弾けたきこ雲あつてはならぬ戦争の二文字	北海道小樽未来創造高等学校	3年	角田 健太
僕たちはわからないまま生きているこれからなにが去りあらわれる	北海道高等聾学校	3年	青野 圭吾
あの人の言葉ひとつでさわがしく一喜一憂している心	北海道札幌白石高等学校	1年	谷岡 愛海
春なのにつめたい風がひらひらとスカートゆらす新しい日々	北海道札幌白石高等学校	1年	平田 絢乃
寂れてゆく故郷をこの目に焼きつけて旅立ちの日に近づく時間	北海道滝上高等学校	3年	立花 優輝

入賞されたみなさま、まことにおめでとうございます。